



SOLA論文賞賞状



降水粒子撮像ゾンデRainscope

日本気象学会英文レター誌SOLA論文賞受賞

このたび、当社従業員2名と鈴木賢士氏(山口大学教授)ほか2名の方々との共著となる論文が、「日本気象学会英文レター誌SOLA論文賞」を受賞しました。

この賞は、毎年SOLAに掲載された論文の中から1編程度の優秀な論文を選定し、表彰されるものです。当社は、2019年度から3年間にわたり、総務省SCOPE(受付番号JP195003007)の委託を受け、「雲/降水粒子撮像装置ビデオゾンデの1680MHz帯実験局から400MHz帯気象援助局への移行技術の研究開発」を行ってきました。今回、その中で開発された降水粒子撮像ゾンデRainscopeを用いた降水雲の内部構造調査に関する研究が、SOLAに掲載され高い評価を得たものです。

明星電気は、これからも高層気象観測の発展に貢献できるよう、研究開発を進めます。

(担当:気象防災事業部)



当社夏村社長(左) 三好教育長

伊勢崎市教育委員会と 教育活動の連携に関する協定を締結

2月14日、伊勢崎市教育委員会と教育活動の連携に関する協定を締結しました。

本協定は、当社と伊勢崎市教育委員会がカリキュラムパートナーとして相互に連携し、持続可能な社会の「つくり手」となる子どもたちの教育活動の充実を図ることを目的としています。子どもたちに、探求的な学習やキャリア教育を充実させるために、当社エンジニアとの交流やものづくり体験などを実施していく予定です。

今後も伊勢崎市と連携し、地域に根ざした取り組みを積極的に進めていきます。

(担当:総務人事部)



模擬訓練の様子

QCASTシリーズ おかげさまで20周年!

気象庁の緊急地震速報は2004年に試験運用が開始され、2007年10月1日に本格運用となりました。当社の受信端末であるQCASTシリーズは、試験運用時から多くのお客さまにご利用いただき、20周年を迎えるとともに、累計販売実績数も5,000台となりました。

また、昨年は最新機種として長周期地震動対応のQCASTシリーズをリリースしました。能登半島地震の発生など、年々地震防災意識が高まる中、最先端の技術を取り入れた機器へ進化を続け、防災減災に寄与する製品として引き続きご愛顧いただきますようお願いいたします。

明星電気は、これからも革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

(担当:気象防災事業部)

[文中:敬称略]

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。